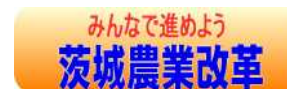


農 研 速 報



平成 26 年 11 月 7 日発行
 茨城県農業総合センター 農業研究所 作物研究室
 〒301-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
 TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

水稻の生育状況（10 月 28 日現在、水戸市）

地域名	移植時期	対 平 年 収 量 比 (%)	作 柄 概 況
茨城県 (水戸市)	5 月 1 日	(あきたこまち) 99	<p>5 月の平均気温は平年並～高く、多照で推移したことから、分けつ初期の生育は平年より 1～2 日程度早まった。その後、6 月は日照不足の期間もあったものの、平均気温は平年並～高く推移したことから、分けつ期～幼穂形成期の生育は平年より 1～4 日程度早まった。7 月に入り平均気温は平年並～低く推移したが、両品種ともに 5～6 月に生育が早まっていたことから、出穂期は平年と比べてあきたこまちで 1 日早く、コシヒカリで 2 日早かった。あきたこまちは、出穂期は早かったものの、倒伏程度が大きく、籾の熟期にムラが生じたため、成熟期は平年より 1 日遅かった。8 月第 6 半月以降平均気温が低く推移したため、コシヒカリの登熟期間は平年より長くなった。成熟期は平年より 1 日早かった。</p> <p>【あきたこまち】</p> <p>稈長は平年並み、穂長は平年よりやや短い。穂数は平年よりやや多く、一穂粒数は平年並みで、㎡当たり粒数は平年より多かった。千粒重は平年より軽いものの、登熟歩合は平年より高かったことから、玄米重は平年並であった。7 月下旬の大雨、8 月の台風により、倒伏程度は平年より大きかった。倒伏により穂発芽が生じたものの、整粒歩合は平年より高かった。</p> <p>【コシヒカリ】</p> <p>稈長及び穂長は平年並みであった。穂数は平年より多く、一穂粒数は平年よりやや多いことから、㎡当たり粒数は平年より多かった。千粒重は平年よりやや軽く、登熟歩合は平年よりやや低く、玄米重は平年比 105%とやや多かった。台風等により成熟期 15 日前頃から倒伏し始め、倒伏程度は平年より大きくなったが、整粒歩合は平年並みであった。</p>
		(コシヒカリ) 105	

	5 月 9 日	(コシヒカリ) 118	<p>5 月の平均気温は平年並～高く、多照で推移したことから、分けつ初期の生育は平年より 1～2 日程度早まった。その後、6 月は日照不足の期間もあったものの、平均気温は平年並～高く推移したことから、分けつ期～幼穂形成期の生育は平年より 4 日程度早まった。7 月に入り平均気温は平年並～低く推移したが、出穂期は平年より 5 日早まった。登熟期間中の平均気温は、8 月第 2～5 半旬で平年並～やや低く、8 月第 6 半旬以降は低く推移したことから、登熟日数は平年より 4 日長くなった。成熟期は平年より 1 日早かった。</p> <p>稈長及び穂長は平年よりやや短かった。穂数及び一穂粒数は平年より多いことから、㎡当たり粒数は平年より多かった。千粒重は平年並み、登熟歩合は平年よりやや高く、玄米重は平年比 118%と多かった。㎡当たり粒数が多い条件で千粒重、登熟歩合が低下しなかったのは、稈長が平年よりやや短く、倒伏程度は概ね平年並みであったこと、登熟期間中の平均気温（8 月第 1 半旬を除く）が 24℃程度で登熟に適していたことが考えられる。多収であるものの、整粒歩合は平年並みであった。</p>
--	---------	----------------	---

表 1 生育、収量、収量構成要素

(作物研究室)

移植時期	品種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差
5/1移植	あきたこまち	7/15	-1 (7/16)	-1 (7/16)	8/24	-1 (8/25)	+1 (8/23)	91.1	99 (92.3)	102 (89.7)	17.4	97 (18.0)	96 (18.1)	572	108 (528)	105 (543)	4.5	+1.0 (3.5)	+2.0 (2.5)
	コシヒカリ	7/26	-4 (7/30)	-2 (7/28)	9/6	±0 (9/6)	-1 (9/7)	95.0	98 (97.2)	101 (94.2)	18.7	102 (18.3)	100 (18.8)	514	108 (478)	109 (473)	3.0	+0.5 (2.5)	+1.3 (1.7)
	ふくまる	7/18	±0 (7/18)	- (-)	8/27	±0 (8/27)	- (-)	89.7	102 (87.8)	- (-)	18.8	95 (19.7)	- (-)	423	85 (499)	- (-)	3.0	+0.5 (2.5)	- (-)
5/9移植	コシヒカリ	7/28	-5 (8/2)	-5 (8/2)	9/10	+1 (9/9)	-1 (9/11)	86.5	101 (85.3)	96 (89.9)	19.0	101 (18.8)	97 (19.6)	440	115 (384)	110 (402)	1.0	+0.5 (0.5)	-0.4 (1.4)

移植時期	品種	玄米重			一穂粒数			㎡当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (百粒/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
5/1移植	あきたこまち	68.7	95 (72.4)	99 (69.3)	72	100 (72)	101 (71)	412	108 (380)	106 (387)	20.6	94 (21.8)	94 (21.8)	85.6	101 (84.9)	108 (79.6)
	コシヒカリ	70.7	94 (75.4)	105 (67.6)	81	98 (83)	104 (78)	416	105 (397)	114 (366)	21.3	98 (21.7)	97 (22.0)	82.8	93 (88.9)	96 (86.7)
	ふくまる	81.2	105 (77.3)	- (-)	70	91 (77)	- (-)	296	77 (384)	- (-)	24.8	102 (24.2)	- (-)	90.8	103 (88.3)	- (-)
5/9移植	コシヒカリ	71.2	122 (58.3)	118 (60.3)	82	108 (76)	109 (75)	359	123 (292)	120 (299)	22.5	99 (22.8)	99 (22.8)	91.9	104 (88.4)	103 (88.9)

() 内は前年または平年の実数値を示す。

表2 玄米外観品質

移植時期	品種	玄米外観品質																	
		整粒(%)			青未熟粒(%)			乳白粒(%)			心白粒(%)			基白粒(%)			背白粒(%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
5/1移植	あきたこまち	92.1	+11.9 (80.2)	+5.1 (87.0)	0.7	-10.5 (11.2)	-5.6 (6.3)	0.7	+0.4 (0.3)	-1.0 (1.7)	0.0	-0.4 (0.4)	-0.2 (0.2)	0.4	-0.1 (0.5)	±0 (0.4)	0.1	±0 (0.1)	-0.1 (0.2)
	コシヒカリ	87.2	+1.8 (85.4)	-1.4 (88.6)	0.6	-5.0 (5.6)	-2.6 (3.2)	5.0	+4.3 (0.7)	+2.6 (2.4)	0.1	-0.1 (0.2)	-0.1 (0.2)	0.1	-0.1 (0.2)	-0.2 (0.3)	0.0	-0.1 (0.1)	-0.2 (0.2)
	ふくまる	92.0	13.3 (78.7)	- (-)	1.1	-9.6 (10.7)	- (-)	0.3	+0.1 (0.2)	- (-)	0.1	-0.5 (0.6)	- (-)	0.1	+0.1 (0.0)	- (-)	0.0	±0 (0.0)	- (-)
5/9移植	コシヒカリ	92.0	+1.1 (90.9)	-0.2 (92.2)	0.4	-0.4 (0.8)	-0.9 (1.3)	1.0	+0.9 (0.1)	-0.5 (1.5)	0.3	-0.1 (0.4)	±0 (0.3)	0.2	+0.1 (0.1)	±0 (0.2)	0.0	±0 (0.0)	-0.1 (0.1)

移植時期	品種	玄米外観品質					
		腹白粒			その他		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
5/1移植	あきたこまち	1.8	+1.2 (0.6)	+1.2 (0.6)	4.2	-2.5 (6.7)	+0.6 (3.6)
	コシヒカリ	2.4	+2.2 (0.2)	+1.5 (0.9)	4.6	-3.0 (7.6)	+0.4 (4.2)
	ふくまる	0.9	+0.6 (0.3)	- (-)	5.5	-4.0 (9.5)	- (-)
5/9移植	コシヒカリ	1.8	+1.7 (0.1)	+1.6 (0.2)	4.3	-3.3 (7.6)	+0.2 (4.1)

【耕種概要】

- 1) 苗質：稚苗
2) 植え付け本数：5本/株
3) 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/㎡
 ふくまる 18.5株/㎡
4) 基肥施用量
あきたこまち・ふくまる N：P₂O₅：K₂O = 0.8：2.0：1.8(kg/a)
コシヒカリ N：P₂O₅：K₂O = 0.6：1.5：1.4(kg/a)
5) 追肥時期及び追肥施用量
(5月1日移植) あきたこまち 6月28日 N：K₂O=0.3：0.3(kg/a)
 ふくまる 7月 1日 N：K₂O=0.4：0.4(kg/a)
 コシヒカリ 7月10日 N：K₂O=0.3：0.3(kg/a)
(5月9日移植) コシヒカリ 7月14日 N：K₂O=0.3：0.3(kg/a)

【平年値】

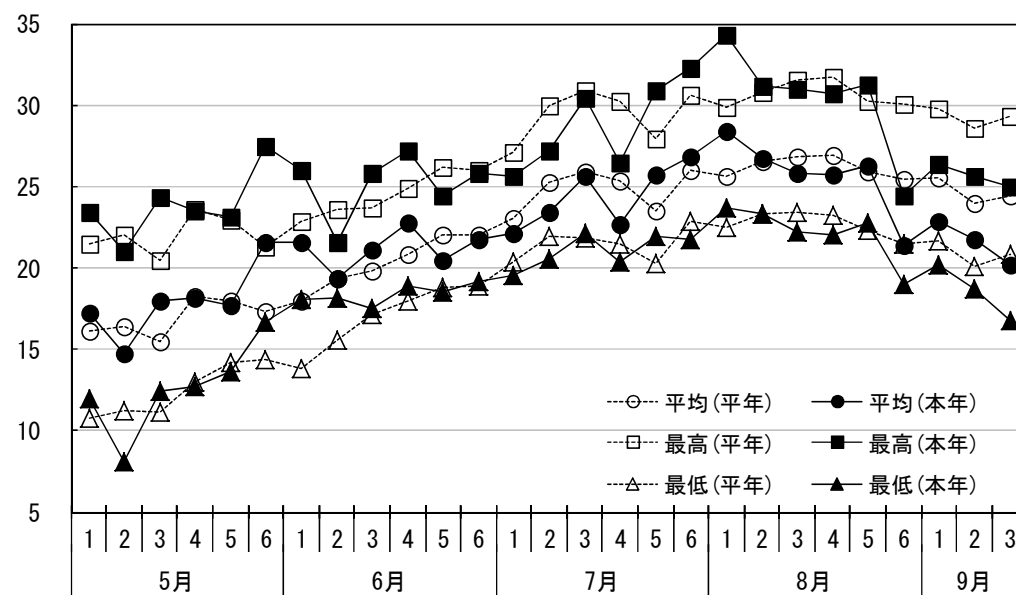
平成21～25年の5年間の平均値
ふくまるは平成25年から調査のため平年値なし

【玄米外観品質】

その他は、他未熟粒・被害粒・着色粒・死米を合計したもの

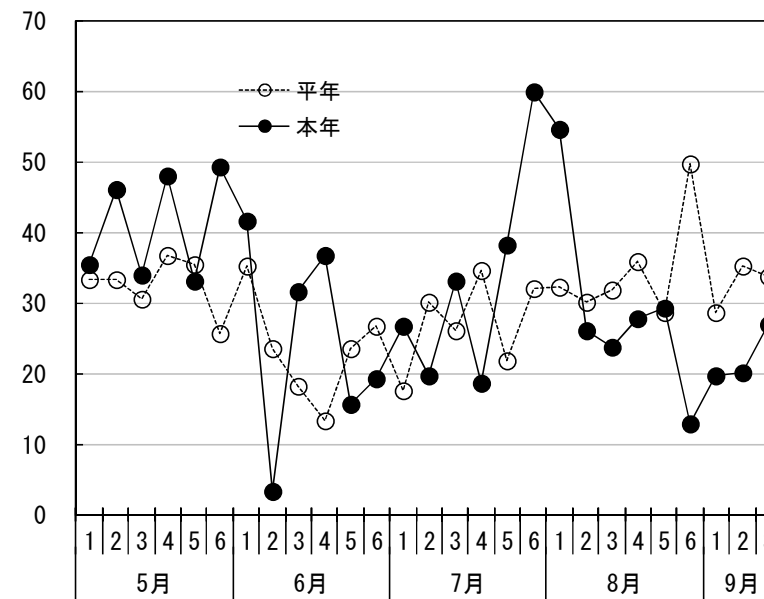
(°C)

気温の推移



(hr)

日照時間の推移



移植時期別の 気象条件

移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
5月1日移植	5月第1半旬～9月第3半旬	22.2	22.4	-0.2	3070.3	3089.6	-19.3	830	804	103
5月9日移植	5月第3半旬～9月第3半旬	22.7	22.9	-0.1	2910.8	2927.1	-16.3	749	737	102